

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	蓼科滝の湯合同会社					
代表者名	氏名	山本 俊祐	役職名	代表社員 Heijo一般社団法人 職務執行者		
主たる事務所の所在地	長野県茅野市北山4028番地口					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	主として短時間（通例、日を単位とする）宿泊又は宿泊と食事を一般公衆に提供する営利的な事業所					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1516	1450	1563	1339	1540
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3651	3500	3756	3197	3677
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	9		9	9	9
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	10				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	www.takinoyu.co.jp
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

全体像を把握し、エネルギーがどのように使われているかの全従業員に共通認識を持つ。そのために、日々のミーティングや定例会の会合を通じて情報の共有化を図り、認識を同じくする。

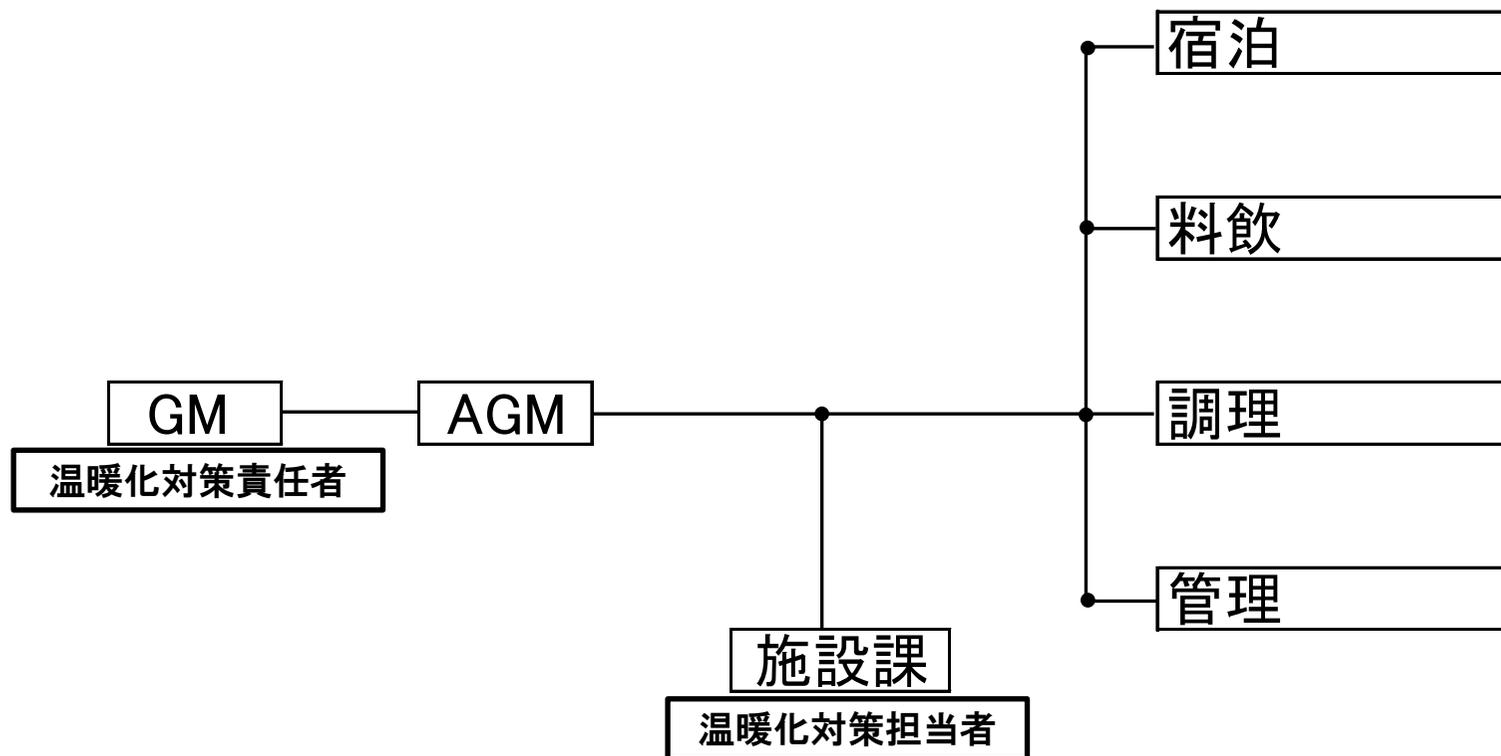
5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制

別紙添付

5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

特になし

温室効果ガス排出抑制の為の組織体制



様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,651	t-CO ₂	延べ床面積	26	単位	千㎡	
28年度	調整後排出量	3,640	t-CO ₂	基準原単位	141.33	t-CO ₂ /	千㎡	
目標年度	目標排出量	3,500	t-CO ₂	目標原単位	135.00	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	4.13	%	目標削減率	4.47	%		
目標設定に関する説明	ホテル・旅館の業態であるので、お客様に影響の直接出ない範囲で、まず無駄の見直しから行いたい。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	3,756	t-CO ₂	延べ床面積	26	単位	千㎡	
	調整後排出量	3,742	t-CO ₂	原単位	145.39	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(2.88)	%	削減率	(2.88)	%		
排出量等の増減理由	2017年(平成29年)4月～2018年(平成30年)3月 H28年(2016)度の2月～9月までのリニューアル工事を行っていた露天風呂がオープン、そのためH29年(2017)4月～9月の期間は前年度と比べエネルギーの使用量が増えている。							
第二年度	排出量	3,197	t-CO ₂	延べ床面積	26	単位	千㎡	
	調整後排出量	3,187	t-CO ₂	原単位	123.75	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	12.43	%	削減率	12.43	%		
排出量等の増減理由	2018年(平成30年)4月～2019年(平成31年)3月 H31年の1月7日から4月26日まで休館工事中だったため、前年度に比べエネルギーの使用量が少ない。							
第三年度	排出量	3,677	t-CO ₂	延べ床面積	26	単位	千㎡	
	調整後排出量	3,663	t-CO ₂	原単位	142.33	t-CO ₂ /	千㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	(0.72)	%	削減率	(0.71)	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2019年(平成31年)4月～2020年(令和2年)3月 1月よりCOVID-19(コロナ)の影響出始め稼働が減少。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	10	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	110201 日常点検・定期点検	29~31	35	31	30
2	エネ起	120204 熱交換器のスケール除去	29~31	35	31	30
3	エネ起	150201 照明器具の清掃 適正時期のランプ交換	29~31	18	31	15
4	エネ起	110401 エネルギーフローの管理	30	100	30	80
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	11		14	10	14
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,651	1	3,756			1	3,677
1,500k1未満					1	3,197		
合計	1	3,651	1	3,756	1	3,197	1	3,677

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	9	9	9	9
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	自社敷地内に公共交通バスのバス停を設置している
来客者の交通対策	最寄駅まで送迎バスを運行している
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	特になし
第一年度実績	プリンター用紙の再利用
第二年度実績	プリンター用紙の再利用
第三年度実績	プリンター用紙の再利用

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量 (tCO ₂)
基準年度以前の取組み	蓄熱式ヒートポンプ装置の導入 LED電球の導入 貫流ボイラーのダウンサイジング入れ替え	70
その他	第一年度実績：11月に蓄熱式ヒートポンプのタンクを増設し、お風呂場の補給湯温を高めに設定し、かけ流し状態で補給することで、ボイラーの稼働を減らす。 第二・三年度実績：特になし	